

【しっこちゃん】

どういうわけだか、小学校のおぼけは、便所に多く出るんじゃ。

汲み取り式じゃから、そのせいかもしれんろう。

便所は暗くて、便所の穴は真っ暗じゃから、その穴からおぼけが出て来ても、だれも不思議にはおもわん。

ある日わしは授業中に、おしっこがしたくてたまらなくなってしまうた。

一年生のときに、がまんしてがまんできずに、もらしちまったからのう、こんどは手をあげて、大きな声を出したわけじゃ。

「せんせい、べんじょが、よんどるぞい」

先生は苦笑いしてのう、どうぞと手で促したもんじゃ。

わしは最近便所に出た、【うんこちゃん】という幽霊のことをかんがえながら、便所に向ったのじゃ。

わしは、うんこではなくておしっこなのだから、【うんこちゃん】に出逢う心配はないぞい、そう自分にいい聞かせていたもんじゃ。

それに、【うんこちゃん】が出たのは、女子用便所だからのう。

わしは歌いながら、勇んで便所に行ったぞい。

おしっこしっこここ

うんこじゃないぞい

おしっこするんじゃ

うんこはしないぞい

おしっこここしっこ

おしっこたのしいな

おしっこきもちええ

おしっこするぞーい

おしっこいまぞゆく

べんじょがよんどる

べんじょがまっとる

いまぞゆくおしっこ

そのとき、便所の中から、
「うるさいわよ」
と怒鳴り声がするんじゃ。
可愛い女の子の声じゃ。
「すまんのう」
とわしはいいながら、女子便所にだれかいるんだとかんがえたんじゃ。
授業中に便所に行くのは、わしだけじゃないんだとわかると、うれしい気分じゃった。
それで女子便所の中に向って、
「おまえは、うんこか、おしっこか」
ときいてみたもんじゃ。
すると、すぐに大声で返事がかえってきてのう、
「しっこちゃん」
わしも返して、
「しっこじゃのうて、おしっこじゃろ」
するてえと、
「ならば、うんこじゃのうて、おうんこなの」
わしは、なるほどとおもってのう、その女の子に感心したので、おしっこを我慢して、便所から出てくるのを待っておったぞい。
その女の子が、だれなのかを確認したかったのじゃ。
こういう頭のいい、こまっしゃくれの女の子は、隣の組の静子ちゃんしかいないはずじゃがのう。
はたして、わしの勘は当たるか、いなか。
なかなか出てこんので、わしはためしに静子ちゃんの名を呼んでみたぞい。
「しずこちゃん、しずこちゃん、しずこちゃん、しっこちゃん、しっこちゃん」
あれれ、いつのまにか「静子ちゃん」が「しっこちゃん」になっているんじゃ。
ああ、静子ちゃんは、便所の中から、自分の名前を叫んだわけなんじゃのう。
勘が当たったので、安心したわしは、おしっこをしてから教室に戻っ

たんじゃ。

放課後になって、隣の組の男の子に、それとなくきいてみるとのう、静子ちゃんは、今日は風邪で休んでいるとのことじゃった。

他に、授業中に便所に行った女の子はいないか、ときくとのう、「そんなことするの、金ちゃんだけだよ。みんな便所行きたくても、手あげたりせんで、授業が終るまで、じっとがまんしてるだよ。あんなもん、だれでもがまんできるものなんさ」

わしはすこぶる感心したんじゃが、するてえと、あの【しっこちゃん】は、いったいだれだったのか、いまでも謎じゃのう。